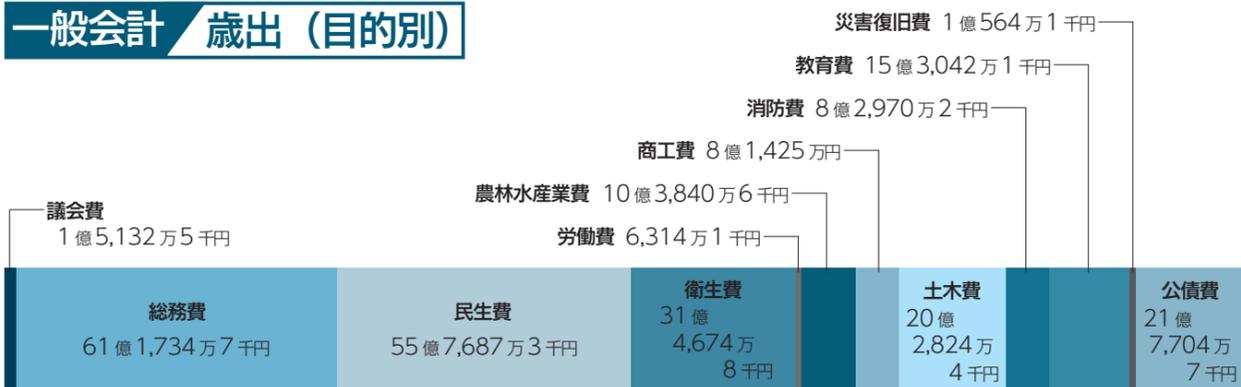


一般会計 歳出 (性質別) 総額 235億7,914万5千円



一般会計 歳出 (目的別)



仙北市の財政指標

令和5年度普通会計決算統計から

▶ **基金現在高 35億2,572万7千円**
 財源不足への備えや、地域振興などの特定目的に活用するための積立金の現在高。
 (前年度比+2億6,670万6千円)

▶ **地方債現在高 216億5,142万3千円**
 道路、河川、学校などの施設整備のために借り入れた地方債(長期借入金)の現在高。
 (前年度比▲9億1,798万2千円)

▶ **財政力指数 0.266**
 財政力を表す指標で、「標準的な行政を行うために必要な財源に対する市税などの自主財源の割合」の過去3か年の平均値。「1」に近いほど財源に余裕があり、地方交付税や補助金などへの依存度が高いほど低い数値になります。
 仙北市は市税の割合が歳入の11.5%で、県内の多くの市町村と同様、地方交付税への依存度(37.5%)が高くなっています。

▶ **経常収支比率 101.8%**
 財政構造の弾力性を表す指標で、市税や地方交付税など(一般財源)を人件費や扶助費、公債費など(経常的経費)にどのくらい割り当てられているかを表す指標。この比率が高いほど、財政は硬直化していることとなります。

仙北市は昨年度(98.4%)と比較し3.4%上回っています。経常収支比率が100%を超えているため、経常的な収入で経常経費を賄うことができていない状況にありますので、引き続き事業の効率的な実施や見直しを図り、財政の健全化に努めます。

▶ **実質公債費比率 8.6%**
 標準的な行政サービスを行うための財政規模(標準財政規模)に対する市の借金返済金(公債費※地方債の元利償還金、下水道や病院等の元利償還金に対する負担金、繰出金等も含む)の割合。この比率が高いほど、財政の硬直性が高く、18%未満が望ましいとされ、25%を超える団体は地方債の一部が制限されます。
 仙北市は、昨年度(8.6%)と比較し同数となっています。

令和5年度 決算をお知らせします

問 仙北市財政課 ☎ 43-1113

実質収支額は
4億161万7千円の黒字

実質単年度収支額は
6億7,826万5千円の赤字
(前年度比△4億5,765万5千円)

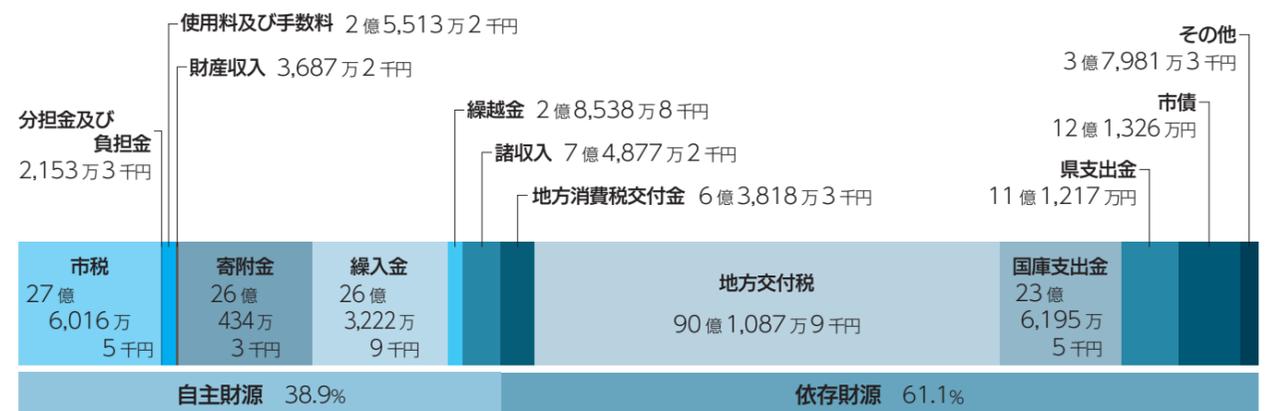
令和5年度一般会計の決算額は、歳入総額240億6,069万4千円、歳出総額235億7,914万5千円、歳入歳出の差引が4億8,154万9千円です。

これから次年度に繰り越した事業の財源7,993万2千円を差し引き、4億161万7千円の黒字となりました。

しかし、実質収支の増減額から黒字要素となる基金の取崩額を控除した実質単年度収支では、前年度よりも赤字額が大きくなっています。

	歳入総額	歳出総額	差引額	繰越財源	実質収支額
5年度	240億6,069万4千円	235億7,914万5千円	4億8,154万9千円	7,993万2千円	4億161万7千円
4年度	229億9,609万1千円	224億4,470万6千円	5億5,138万5千円	1,939万1千円	5億3,199万4千円
増減額	10億6,460万3千円	11億3,443万9千円	▲6,983万6千円	6,054万1千円	▲1億3,037万7千円

一般会計 歳入 総額 240億6,069万4千円



用語解説

市税 市民税や固定資産税など
分担金及び負担金 老人保護措置徴収金など
使用料及び手数料 施設使用料や戸籍等の証明書交付手数料など
財産収入 貯金利子や市所有物の売却収入など
寄附金 寄附でいただいたお金

繰入金 ほかの会計から繰り入れしたお金
繰越金 前年度残ったお金
諸収入 貸付金の元利収入など
地方消費税交付金 消費税から一定の基準で地方に交付されるお金
地方交付税 地域間の財政力格差を調整するために国から交付されるお金

国庫支出金 特定の事業に対し、国から交付される補助金など
県支出金 特定の事業に対し、県から交付される補助金など
市債 大きな事業を行うために借り入れるお金
その他 地方譲与税、各種交付金など

特別会計 歳入・歳出

会計名	歳入総額 (A)	歳出総額 (B)	歳入歳出差引額 (C) (A-B)	繰越事業費 繰越財源 (D)	実質収支額 (C-D)
集中管理	39億4,414万3千円	39億4,414万3千円	0円	0円	0円
国民健康保険 (事業勘定)	26億9,203万9千円	25億8,663万8千円	1億540万1千円	0円	1億540万1千円
国民健康保険 (神代診療施設勘定)	8,746万9千円	8,743万1千円	3万8千円	0円	3万8千円
後期高齢者医療	3億6,044万2千円	3億6,041万5千円	2万7千円	0円	2万7千円
介護保険	5億8,343万2千円	5億8,335万3千円	7万9千円	0円	7万9千円
生保内財産区	1億2,332万8千円	9,788万2千円	2,544万6千円	0円	2,544万6千円
田沢財産区	5,079万4千円	4,254万1千円	825万3千円	0円	825万3千円
雲沢財産区	502万4千円	441万4千円	61万円	0円	61万円

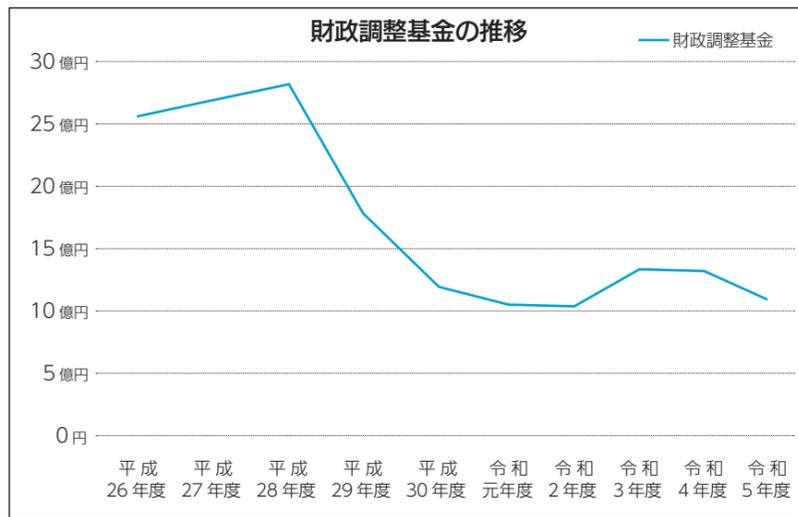
財政調整基金 の推移

年度	財政調整基金
平成 26 年度	25億4,944万8千円
平成 27 年度	26億3,314万2千円
平成 28 年度	27億873万1千円
平成 29 年度	17億7,652万5千円
平成 30 年度	11億8,130万2千円
令和 元 年度	10億3,907万8千円
令和 2 年度	10億3,598万円
令和 3 年度	13億7,143万2千円
令和 4 年度	13億6,719万9千円
令和 5 年度	10億8,531万1千円

用語解説

財政調整基金とは…

自治体における年度間の財源の不均衡を調整するための積立金です。



財政調整基金は、平成 28 年度から平成 30 年度にかけて普通交付税の減少などに伴う財源不足により大幅に減少しています。近年は、ふるさと仙北応援基金（ふるさと納税）などの活用により残高を確保してきましたが、令和 5 年度末の基金残高は、病院事業会計の経営悪化による補助金の増額や社会福祉法人への運営費補助金の増額に対応するため基金を取り崩しており、前年度と比較すると減少しています。

一般的な目安とされている基金残高は、標準財政規模の 10% 以上となりますが、令和 5 年度末時点の残高は基準を下回っています。

→ 仙北市の標準財政規模 令和 5 年度：115 億 3,556 万 9 千円

令和 6 年 3 月 31 日現在の人口 23,227 人で計算

人口 1 人当たり換算すると…。 合計 1,015,161 円 内訳は…。

議会費	市議会運営のためのお金	6,515 円	商工費	観光や商工業の振興のためのお金	35,056 円
総務費	行政運営のためのお金	263,372 円	土木費	道路や公園の整備などまちづくりのためのお金	87,323 円
民生費	子どもやお年寄り、体の不自由な方などの福祉のためのお金	240,103 円	消防費	火災・自然災害などの防災活動のためのお金	35,722 円
衛生費	ごみ処理や市民の健康のためのお金	135,478 円	教育費	学校などの整備や教育振興のためのお金	65,890 円
労働費	働く機会の確保や労働環境を改善するためのお金	2,718 円	災害復旧費	災害復旧のためのお金	4,548 円
農林水産業費	農林水産業の振興と育成のためのお金	44,707 円	公債費	市の借入金の返済のためのお金	93,729 円

公営企業会計 収入・支出

会計名	区分	収入	支出	差引
病院事業	収益的収支	45億4,661万1千円	48億9,309万7千円	▲3億4,648万6千円
	資本的収支	7億9,891万8千円	9億5,416万9千円	
温泉事業	収益的収支	5,391万4千円	6,301万5千円	▲910万1千円
	資本的収支	2,743万2千円	2,747万2千円	
水道事業	収益的収支	4億6,707万9千円	6億489万4千円	▲1億3,781万5千円
	資本的収支	5億4,166万3千円	7億6,841万円	
下水道事業	収益的収支	8億4,006万9千円	9億3,288万5千円	▲9,281万6千円
	資本的収支	4億3,051万4千円	6億1,151万5千円	

※収益的収支については、消費税及び地方消費税を除く（損益計算書から）。

用語解説

収益的収支とは…

地方公営企業の経常的企業活動に伴い、年度内に発生すると見込まれる全ての収益とそれに対応する全ての費用のことです。したがって、減価償却費のように現金支出を伴わない支出についても費用に含まれます。

資本的収支とは…

効果が次期以上におよび将来の収益に対応する支出とその財源となる収入のことです。施設の整備や企業債の償還元金などの支出、これに要する資金としての企業債収入なども資本的収支に含まれます。

決算は仙北市ホームページからご覧いただけます

(<https://www.city.semboku.akita.jp/government/information/kessanjyokyo.html>)

